

【議案の審査内容】

議案第 39 号「弥富市文化広場条例の一部改正について」

問 なぜ、さくら会館を廃止するのか。

答 老朽化により維持が困難なため。

問 年間運用コストと解体費用、財源内訳は。

答 年間運用コスト約 96 万円。令和 8 年度以降に解体予定で、費用は約 3,200 万円。財源は公共施設等適正管理推進事業債が 90% で残りは一般財源。

問 跡地の活用は。

答 市民プール跡地、はなのき広場と一体的に整備し、イベント空間とする方向で検討。



▲さくら会館

議案第 40 号「弥富市立武道場条例の廃止について」

問 なぜ廃止するのか。

答 昭和 52 年建築で老朽化が著しいため。

問 いつ取り壊すのか。解体費用と財源は。

答 令和 8 年度以降に解体予定。費用は約 4,850 万円。財源は公共施設等適正管理推進事業債が 90% で残りは一般財源。



▲弥富市立武道場

議案第 42 号「弥富市役所支所設置条例の一部改正について」

問 なぜ鍋田支所を廃止するのか。

答 建設から約 60 年が経過し老朽化しているため。また、教育支援センター「アクティブ」も令和 8 年に十四山支所へ移転するため。

問 取り壊し時期・費用・財源は。

答 令和 9 年度中に解体予定。費用は約 3,500 万円。財源は公共施設等適正管理推進事業債が 90% で残りは一般財源。

問 跡地の利用は。

答 農村環境改善センターの駐車場として利用。



▲鍋田支所

議案第 43 号「弥富市総合福祉センター条例の一部改正について」

問 弥富市デイサービスセンター及び弥富市障害者生きがいセンターの利用資格を緩和する理由は。

答 利用定員に余裕がある場合、市外居住者も利用を可能とするため。

問 緩和する目的とメリットは。

答 利用者の増加を図り、収益向上と事業運営の安定化。

議案第 44 号「弥富市十四山総合福祉センター条例の一部改正について」

問 弥富市十四山高齢者生きがいセンターの指定管理期間を更新しないのか。

答 シルバー人材センターによる指定管理を継続することが困難で、事務所を弥富市総合福祉センターに統合するため。

問 十四山高齢者生きがいセンターが利用していた場所の利活用は。

答 障害者生きがいセンターと一体的に活用し、定員 11 人から 20 人になる予定。

問 地域活動支援センターから生活介護へ移行する理由は。

答 市の負担を軽減させることと、指定管理者の収益向上のため。

問 地域活動支援センターから生活介護への移行対応は。

答 10 人中 6 人は、継続して利用可。他の 4 人は対象者とならない可能性があるが、他事業所を案内するなど丁寧に対応。

議案第 45 号「弥富市いこいの里条例の一部改正について」

問 弥富市南デイサービスセンターの利用資格を緩和する理由は。

答 利用者の増加を図り、収益向上と事業運営を安定化させるため。

問 緩和する目的とメリットは。

答 利用資格を緩和することで、利用者の増加。指定管理者の収益向上、事業運営の安定化。

議案第 46 号「弥富市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」

問 市内保育所において一般型か、余裕型どちらの方式で実施するのか。

答 実施保育所を含め検討中。

問 一時保育との役割分担は。

答 一時保育は保護者の立場からの必要性に対応するもので、乳児等通園支援事業は子どもの育ちを応援することが目的。

議案第 47 号「弥富市下水道条例の一部改正について」

問 災害時に、市の指定を受けていない業者も工事できるのか。

答 本市の指定業者でなくても他自治体で指定を受けている業者であれば工事が可能。

問 なぜ今回から手数料を徴収するのか。

答 経営戦略に基づき、近隣自治体と同じように手数料を徴収して市の収入増加を図るため。

